

商 工 会 報

あ ち

第 27 号

発行 阿智村商工会
43-2241

編集 会報編集委員会

印刷 龍共印刷(株)



通常総会

第3 セクター 阿智総合開発(株)への出資を決議

5月12日午後2時から、第33回通常総会が商工会館大会議室において、黒柳村長さん、下伊那地方事務所横山商工課長さん他大勢のご来賓をお迎えして、盛大に開催されました。

総会では例年のように事業報告、決算の承認、五年度の事業計画、予算の審議が行われましたが、本年は特に第三セクター阿智総合開発株式会社への加入と出資について、が提案されました。

今年二月十日の理事会で、阿智総合開発株式会社と係りを持って、村の商工観光業の活性化につなぐ事が必要ではないかとの提案が可決され、その後村の岡庭商工観光課長のお力添えで阿智総合開発株式会社も加入を快諾され総会への提案となりました。総会に於ても全員のご賛成を頂き可決されましたので、積極的な取組をして参りたいと思っております。又二年間に亘ってお骨折りました宮嶋青年部長さんが任期満了となり、新たに山口和彦さんが青年部の代表として、理事に就任される事も可決されました。総会終了後、永年勤続従業員の方々が表彰されました。

永年勤続表彰

▽二十五年 下原恒男(南信土建) 二十年 井原寛人、遠山一二三(阿智生コン) 古田二三夫(南信土建) 十五年

年 岡本昭一、加藤勝敏(小笠原鉄工) 熊谷加津美、田中愛子、熊谷平三(清風苑) 熊谷孝志(鶴巻荘) 十年 村沢好雄(阿智工務店) 桜井幸年(グランドホテル) 吉沢賢治(ホテル阿智川) 原善男(南信土建) 島岡治彦、岡庭文字(神明荘) 五年 本村

万寿男、倉田芳俊(大津屋新聞店) 原甲子男(阿智工務店) 伊藤富男、宮崎重彦(ホテル阿智川) 小川原久雄、加藤秀樹、宮下節(山翠苑) 熊谷政通(原塗装) 小松季子、倉田静子(鶴巻荘) 佐藤義子、上沼恵美子(清風苑) 横道敏樹(いしだ)

初仕事は信州博への協力

新青年部長 山口和彦



の雑多な中から地域に根ざした地域のニーズに合致した活動を推進していく必要を課せられていると思います。

今日六月十八日国会では内閣不信任案が採決され解散、総選挙への突入が確実となりました。この会報が発刊される頃には、二十一世紀に向け新しい日本の先駆者たちがプレステージを乱舞といったところか?

この七月より松本をメイン会場に「信州博」が開催されます。そんな中、八月二十二日の「商工会の日」に於て県連部員が一同に会し数多くのイベントを計画中であり当日の成功を期待されています。

いずれにせよ懸案であった政治改革は基より、昨年よりのバブル崩壊による「不景気風」を一掃する景気浮揚策を打ち出しているかきたいものであります。

この四月、先輩部員より青年部を引継いで以来、単会の仕事はおろそかになりがちであり「信州博」関連に奔走しているといったところが現実ですが、これより二年間各方面の方々より御指導を仰ぎながら全事業を完遂し、何か一つでも自分のカラーが出せればと考えています。

我々商工青年部の明日には、模索し探求していかなければならぬ事柄は数多く蓄積されている訳で、そ

経済部

日本の政治・経済の鼓動を実感

経済部副部長 井原忠亮

東京視察

六月二十四日、二十五日の二日間で東京証券取引所（飯田証券紹介）国会、首相官邸、築地卸売市場を視察しました。日本経済の中心で、又企業や国の資産調達を容易にし、各地経済の発展に寄与している東京証券取引所は、円高（一ドル百円？）の進む中、株価動向が今一步との実態という事でした。株券売買立合の一室に千名の職員、才取会員が常時働いています。手サインの表示や正会員端末装置から入力による取引等、コンピューターが迅速かつ効率的に処理し、株価表示盤に即時に表示されています。この様な景気では見てもほとんど動かさず、又職員九十パーセントが待機状態で、日本経済はどうなるかと思われました。



東京証券取引所

七月始まる東京サミット会場の首相官邸では内装替えと、各国事務局との打合せの忙しさなどで、緊張がいつぱいでした。卸売市場の代名詞までなっている築地。朝の取引状況を体験し、食の流通拠点の役割と責任を随所に研修できました。円高が、一日も早く落ちつくことを祈りながらの研修視察でした。

信州博商工会フェスティバルに参加を！

婦人部では信州博「商工会フェスティバル」の視察研修を計画しています。近日中に班長さんを通じて出席の取りまとめを行いますので、大勢のみなさんの参加をお願いします。

期日 八月二十二日（日）



「奥の細道」20人旅

～感動の松島・中尊寺～

理事 小松勝文

三年に一度の役員研修旅行が新緑あざやかな六月初旬、「みちのく」を舞台に実施されました。

独占する強者もいて、話術の無才を悔い、飛行機嫌いも相まって益々無口になる小生でした。

親睦の宴への期待が高まりました。待望の宴、喰い気の小生はただひたすら松島の味を楽しみただけ。美人ぞろいと目を細め仲居さんの機嫌を取る仲間

総勢二十名、単なる物見遊山の人、視察研修の大義名文を唱える者、口達者な者、ナイーブな人、二十人二十色。酒も入ってにぎやかな、名古屋空港までのマイ

「わんこそば」の賞味となりましたが、「そば処おんびら」の本物の味を知ってしまった役員は、カスリおぼさんの執拗な奨めにも仲々箸が進まず、店始まって以来の最低記録樹立。『そばアレルギー』の小生は空腹を押さえるばかり。初めての岩手路の早々にイメー

昼食後、塩釜神社を参拝し一路再び仙台空港へ。三時に発って雨の名古屋空港へ四時十分到着。駐車場へ置いていたマイクロバスのエンジンがかからず、皆んなで取り付いて押すという、雨の空港での運動会の「落ち」で目度く締め

屋空港までのマイクロバスの車中は、さすが商工会の役員旅行らしいと、一人静かに考えていました。九時三十分定刻通り滑走路を離れたエアバスは、仙台空港目指して快晴の中残雪の北アルプスを眼下に新潟上空へ。佐渡ヶ島を左に見て米沢へ。四十分程で着陸態勢に入りました。

眼下に蔵王のお釜が迫る頃には、席を前後した婦人グループの人気を

バスは心地良いみちのくの午後風の風の中で眠りこける二十人乗せて、日本三景の一つ名勝松島へ。眺望No.1のホテル「大観荘」へ。そこでたった一日の交情ではあったけれどガイドさんと惜別、楽しい

役員研修旅行顛末記

眼下に蔵王のお釜が迫る頃には、席を前後した婦人グループの人気を

バスは心地良いみちのくの午後風の風の中で眠りこける二十人乗せて、日本三景の一つ名勝松島へ。眺望No.1のホテル「大観荘」へ。そこでたった一日の交情ではあったけれどガイドさんと惜別、楽しい



誰が一番？

シリーズ 我が家の秘蔵写真 第十五回

商工会初代会長さんの新井千乗さんと奥様の光子さんから、お話を伺いました。

千乗さんのおじいさんの彦治郎さんが、明治二十三年頃堅町で製糸工場を始めました。

又その頃、駒場で酒造業をしていた椎名さんという方が店を手離されるという話があり、その店を買い取って酒造業も始めました。十一月から四月まで毎年越後より十人位職人が泊まりこみで来ていま

した。酒は『春駒』という名前でした。

製糸業の方も順調で、中関の元農協本所の所を買って移転し、五十人取りの工場を建て、夏は製糸業、冬は酒造業と彦治郎さんが二つの事業を上手に運営して、益々発展していきました。

大正十二年頃扶桑組合と言うのができて製糸業を譲りました。

戦時中に企業統制が行われ、

昭和十五年頃に西部の六軒の酒造家（殿村、片山、竹村、細田、石原、澤柳）が合同して六華酒造と言う会社を作り、殿村を酒造場として『六の華』と言う酒名で協同営業をしていました。

その後益々物資不足となり、国家方針として企業整備が打ち出され、昭和十九年飯田市と郡下の酒造家三十七軒が合併して、下伊那酒造株式会社設立されました。そして昭

和二十六年に喜久水酒造株式会社と改称されました。

合併の折、殿村も駒場蔵として残り酒造を続けていましたが、昭和三十一年に松川蔵が新設されて一ヶ所で酒造する様になり、駒場蔵は閉鎖。それにより殿村は小売店として現在に至っています。

昔は殿蔵と言っていたのがいつの頃か殿村になったそうです。



昭和30年頃 戦火を逃れる為黒塗りした酒蔵を再び白く塗り変えている



商工会法制化前の青年部員 衿には合併前の会地商工会青年部と染めぬかれている

信金だより

定期性預金金利が完全自由化!

六月二十一日から金融機関、郵便貯金の定期性預金の利率が自由に設定できるようになりました。

大口定期預金、スーパー定期と段階的に自由化されてきましたが、今回から全部の定期預金が完全自由化となったのです。

預金金利が自由化となりますと、金融機関では自由に金利を付けることができることとなります。

実際には金融市場の金利が基準となりますので、各金融機関の発表する金利はほとんど横並びとなっております。窓口にはその日のお預かり利率の表示が掲示されております。

今までの規制金利は金融市場の動きに遅れて変わってきましたが、これからは変動が速いと云えます。

信金では経営の合理化を進め金利の自由化の中でもより一層皆様の期待に応えるよう努力してまいります。

企業探訪

No.22

(株)昼神温泉グランドホテル

6月のなかば、山々の緑に囲まれた昼神温泉郷、昼神温泉グランドホテルを訪問し、取締役支配人、今井竜也さんにお話を伺い、全館（お風呂も）案内していただきました。

《代表者》河原直人

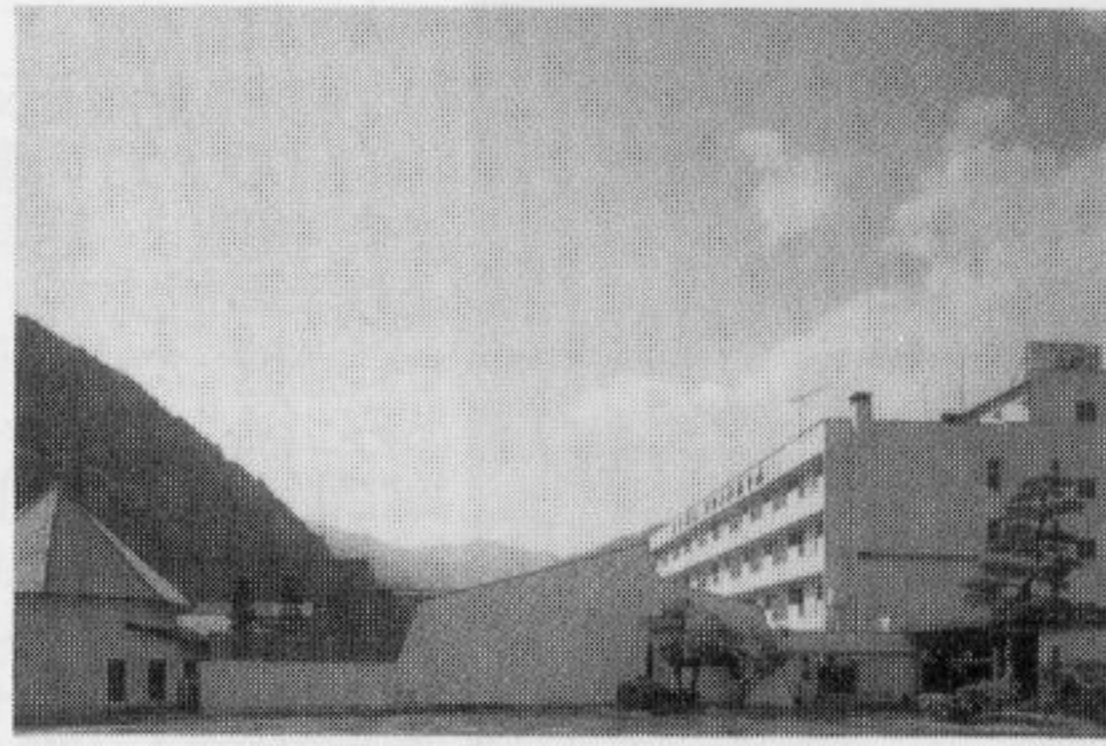
《創業》昭和54年11月設立
昭和55年3月営業

《資本金》7000万円

《従業員数》男20名 女33名
(村内在住者 20名)

《施設内容》収容人数 235名
露店風呂 会議室(70名位)

グランドホテルは昼神温泉郷の中央あたりに位置し、



隣接して観光センターがあり、そのまわりでは朝市が行われ大変にぎわっております。

客層は中京から東海方面、県内、関西、関東の順に多く最近では常連客が増えて、空いている時を選んで来てくれる様になったそうです。従業員の定着率も良く、寮も完備されています。毎年2泊3日の従業員

研修旅行を行っており、昨年より全館一斉に1週間の長期休業をとり入れ、その間に建物、施設の整備、点検等も一緒に行っているそうです。

「お客様は、基本的な対応でまあまあ満足かな。基本プラス特色で満足される」「改築を考える時が来たが、何か特色づけをしたい」と、今井さんはおっしゃっていました。今は特に料理とサービスに力を入れているようですが、お値うち感というものをを出していかないとだめではないかと、将来を見通してお話をして下さいました。

阿智村工業の将来は

工業基盤整備研究会

すでに、商工会報第二十六号でもお知らせしましたが、工業基盤調査の結果、村内企業の三割が工場団地を購入希望しております。

これを基に、工業部では、阿智村工業の将来展望と工場団地構想について、企業の若手の皆さんを委嘱して、若手ならではの発想で研究をしていただくことになりました。指導機関は、信金経営相談

所の加藤修平中小企業診断士をお願いして、九月下旬を目途に現在研究していただいております、この研究会の成果が期待されております。

△研究会委員▽
藤倉陽太郎 (有)藤倉電工
小笠原敏彦 (有)小笠原鉄工
小林 義勝 盟和産業(株)
尾沢 喜人 (有)クロスアート
井原 康人 阿智精密(株)
河合 政好 (株)ホクシン

珠算検定 合格おめでとう

六月十三日(日)に商工会館で実施しました、第九十四回全国商工会珠算検定試験の合格者は、次の皆さんです。

今回の受験者は九十二名、合格率は一八・五%でした。次回の検定試験は、十一月二十一日です。

- 一級 小笠原史恵 小松澄代
- 二級 原陽子 田原恵美里
- 三級 木下耕一 陣内大輔
- 四級 内田弓子 山田香
- 井原麻里子 原ゆり
- 香 米沢彬子 塚田妙子
- 原智哉 山田緑 肥
- 後聖子
- 七級 中島由貴 原恵理

一級合格の二人



小松澄代さん



小笠原史恵さん

編集後記

衆議院が異常な流れのなかで解散総選挙となった。長い間続いた保守一党支配の時代に一応の幕が引かれようとしているが、其の先は全く不透明である。

多くの政治家、評論家が解説し、論評を加えるが、総ては国民一人ひとりの判断と投票に委ねられていることは云までもないことである。

汚職のニュースがテレビや紙面をにぎわす今日を改めるのも、国民一人ひとりの、健全な認識が第一の条件と云えよう。

それぞれの企業運営に安心して専念出来る様な社会を望む者として此の度の選択は容易でない重大事である。

真の意味での行政改革が実現される日の近いことを心から期待する。

商工会では今年の総会で第三セクターへの加入が決まった。京平スキー場の工事ともう始まっている。商工業の活性化、ひいては村の経済発展の為英知の結集を願いたい。

会報編集委員

園原 峯正